

第75回 通常総会 藏内会長挨拶

公益社団法人 日本獣医師会
会長 藏内 勇夫



第75回 公益社団法人 日本獣医師会総会開催に当たり、日本獣医師会を代表し一言ご挨拶を申し上げます。

本日、全国の地方獣医師会代表の皆様方にはご多忙の中ご出席をいただき、誠にありがとうございます。

また、公務多用にもかかわらず、ご来賓として、多くの皆様方にご出席をいただきました。心から感謝を申し上げます。関係省庁からは、齋藤 健農林水産大臣、牧原秀樹厚生労働副大臣、笹川博義環境大臣政務官、信濃正範文部科学省大臣官房審議官、国会からは、自由民主党獣医師問題議員連盟幹事長である森英介衆議院議員、公明党獣医師問題議員懇話会会長である齋藤鉄夫衆議院議員、

自由民主党獣医師問題議員連盟事務局長である北村誠吾衆議院議員、さらに世界医師会会長でもある横倉義武日本医師会会長、中央畜産会の強谷雅彦専務理事、このほかにも多くの関係者の方々にご出席を賜りました。日頃より日本獣医師会に多大なるご支援を賜っており、この場をお借りし、厚くお礼を申し上げます。

今週の月曜日、大阪で震度6弱の地震が発生いたしました。振り返ってみると一昨年は熊本県で大地震が発生し、昨年は私の地元福岡県をはじめ九州北部で豪雨が発生しております。今後、わが国のすべての地域において大規模な自然災害の発生を想定する必要がある、われわれ獣医師も災害に対する意識を堅持し、発災直後の動物救護の初動体制整備等、災害時への取組みが急務と考えているところです。このたびの大阪の地震で尊い命を奪われた方に心からご冥福を申し上げますとともに、被災された皆様にお見舞いを申し上げます。次第です。

さて、私も会長就任後、3期目の任期半ばを迎え、本日もご出席のご来賓をはじめ、地方獣医師会の皆様からご支援をいただきながら様々な課題に取り組んでおります。

まず、“One Health”の推進については、一昨年福岡県小倉で開催した、第2回世界獣医師会－世界医師会“One Health”に関する国際会議の成功の後、同会議で採択、公表された福岡宣言を踏まえ、本日も来席の日本医師会横倉会長との連携を一層強化しながら、関係省庁のご理解とご支援を得て、連携シンポジウムの開催等、関係者間の情報共有に努めているところです。

横倉会長は、現在世界医師会の会長に、本会の酒井副会長は世界獣医師会の評議員に就任されています。今後、WVA、WMA、WHO、OIE、その他の国際機関と連携をしながら、この“One Health”の運動を世界に広めたいと考えております。

また、本年2月に大分県別府市で開催した獣医学術学会年次大会は、2,600名の参加を得て盛大に開催することができました。これは本日もご出席の大分県の麻生会長、九州地区獣医師会連合会の皆様方をはじめ、ご出席の皆様方のご尽力によるものであり、改めてお礼を申し上げます。次第です。

なお、次回平成30年度は、神奈川県獣医師会に担当いただき、新横浜プリンスホテルで開催いたします。後ほど、神奈川県獣医師会 鳥海会長からご紹介いただく予定ですが、大会期間中に東アジア3カ国の獣医師会会長によるサミットをはじめ、多彩な企画を計画しており、多くの皆様のご参加をよろしく願い申し上げます。

さらに、本会におきましては、国際水準に向けた獣医学教育の整備・充実、動物の愛護及び管理に関する法律の改正によるマイクロチップ装着・登録の義務化、動物看護師の公的資格化によるチーム獣医療体制の整備、勤務獣医師の処遇改善等、地方獣医師会と構成獣医師の皆様の支援を得、同時に、北村直人日本獣医師連盟委員長と車の両輪の関係でこれらの課題を解決していきたいと考えているところです。

一方、獣医学部の新設については、本年度から新しい獣医学部が開設されましたが、本会は新たな獣医学部での教育が文科省の強いご指導のもとで、国際水準へ到達する内容となることを強く願っております。このような基本姿勢を堅持し、これまで以上に獣医学系大学など関係機関と連携しながら、わが国の獣医学教育の国際水準化達成に向け、引き続き尽力をしてまいります。皆様方のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

本年、日本獣医師会は70周年を迎えます。11月末日に東京で記念式典を行う予定であり、世界医師会会長である横倉先生に“One Health”について特別講演をいただく予定です。

本日の総会は、平成29年度の決算及び事業報告、また、平成30年度の予算及び事業計画等の重要な議案を審議いただきます。ご出席の皆様方におかれては、今後、日本獣医師会が一層活発により意義のある活動を推進するよう忌憚のないご意見をお願い申し上げます、私の挨拶とさせていただきます。